

平成 29 年度 特定非営利活動に係る事業報告書

特定非営利活動法人
ちば市民活動・市民事業サポートクラブ

1. 事業の成果

① 組織の運営

- ・ 会員は、運営会員 24 名、賛同会員 99 名となっています。前年度に比較して、全体で 16 名減少しました。寄付件数は 19 件となっています。
- ・ 定例理事会を年 5 回開催しました。
7/20 年間事業計画、9/2 中間報告と下期の進め方について、12/21 年度末までの計画について、3/15 次年度事業計画案について、5/17 第 18 回総会議案について
- ・ 事務局は 20 名（四街道市みんなで地域づくりセンター 6 名、おおなみこなみボランティアスタッフ 6 名を含む）の体制で運営しました。

② 相談事業・NPO の支援事業

相談事業

- ・ 事務所で日常的に相談を受け、「会計」「事業報告書の作成」「活動団体の紹介」「法人の運営」などの相談に対応しました。事務所での相談は 24 件、四街道市みんなで地域づくりセンターでの相談は 67 件、とみさと市民活動サポートセンターでの相談は 109 件、年間で 200 件の相談件数となっています。

講座、講師派遣事業

- ・ 社会的課題、NPO の状況に沿った内容で主催講座として 2 講座を企画開催。千葉県受託事業として、「千葉県市民活動団体マネジメントセミナー」5 講座を開催しました。参加人数は合計 188 名でした。
〈主催講座〉
事業報告書作成のための講座（16 名）、ロジックモデル・ブラッシュアップ講座（11 名）
〈千葉県市民活動団体マネジメントセミナー〉
休眠預金活用による新たな資金循環の創出について（37 名）、成果を出す事業のつくり方講座ーロジックモデルを活用した事業計画づくりー第 1 回（29 名）、第 2 回（27 名）、
団体の活動への理解と共感を得るインターネット・コミュニケーション（29 名）、
団体の事業について理解と信頼を得るためにー事業報告書作成のための講座ー（39 名）
- ・ NPO と行政との協働や団体のマネジメント、市民の地域づくり活動への参加等についての講座の企画、講師派遣を行いました。

③ 地域づくりのコーディネート事業

四街道市みんなで地域づくりセンターの運営（地域づくりコーディネーター業務委託事業）

- ・ 四街道市の平成 27 年度～29 年度の委託事業として、みんなで地域づくりセンターの運営を担い、センター事業の企画・実施、スタッフの研修を通して、センター機能の充実をすすめ、「みんなで地域づくり（＝市民協働）」を進めました。（オープン日 252 日、来所者数 8,003 人※大きなテーブル、ユニバーサル農業フェスタ等を含む、新着情報 546 件、相談件数 67 件）
- ・ 市の高齢化率が 28% を超える中で「自治会情報交換会」を 1 回は市内全地域対象で、市で進められている「地域支え合い」の活動について伝え、それをもとに意見交換を行いました。もう 1 回は地域を絞って具体的な課題について掘り起こしました。今後は、地域でできることから具体的な取り組みにつなげていきます。

- ・ 四街道市地域支えあい推進会議に参画し、高齢者支援課や地域包括支援センター、関係団体等と連携して課題に取り組みました。
- ・ 子ども支援団体交流会「子どもを取り巻く状況と支援」を2回開催し、市内の子どもの状況について関係機関へのヒアリングの結果と支援を必要としている子どもの状況を報告し、どのような支援が必要かについて、地域の活動団体や民生児童委員が意見交換を行いました。
- ・ 「みんなでつつみこむあたたか地域づくりプロジェクト」が、障害もある子もない子も地域の中で育ち合う場を作ることを目的として行った「みんなの学校」上映会などの活動をサポートしました。
- ・ 四街道の魅力発信や地域活性化を目指して、「四街道マップ活用交流会」の散策ツアー、「よつグルメ研究会」の東京情報大学との連携や商品開発などをサポートしました。
- ・ 吉岡地域の複数の団体がコラボして行うY・Y・NOWSONの活動が、平成29年度ふるさとづくり大賞総務大臣賞（団体表彰）を受賞しました。
- ・ 「夏休み小学生ボランティア体験」を開催し、市民の地域づくりへの理解や参加を進めました。「福祉施設紹介・販売フェア 大きなテーブル」を開き、秋には四街道市で5回目の「ちばユニバーサル農業フェスタ」（参加団体50、来場者3,300人）の開催に協力し、小・中・高校・大学など地域の若い世代の参加により活気を増し、市内外に「ユニバーサル農業」を発信しました。
- ・ 地域づくりに関する講座として、「コラボ塾」（6回）を開いて「コラボ四街道（みんなで地域づくり事業提案制度）」への提案につなげ、「組織マネジメント勉強会」（8回）「広報担当者によるおもしろ広報会議（みんなで広報Day）」（3回）を開き、団体の運営力アップを図りました。
- ・ 広報誌『みんなで』、ホームページやブログ、メールマガジン、Facebookなどにより、センター事業や市民活動団体情報、助成金情報などを発信しました。

富里市まちづくりコーディネーター育成業務

「富里市協働のまちづくり条例」と「富里市まちづくり推進計画」に則り、まちづくりコーディネーターとしてとみさと市民活動サポートセンターの7つの機能を発揮できるよう日々の業務、月2回開催するコーディネーター会議をとおして指導、アドバイスを行いました。

コーディネーター会議は24回開催（72時間）、とみさと市民活動サポートセンター業務29日（245.5時間）、相談は109件（前年63件）、来所者数は4,830人の実績です。

- ・ 地域づくり団体のマネジメント講座「メカラウロコセミナー」を4回開催（参加総数：58名）、参加者交流、個別の相談に対応しました。「補助金申請書の書き方&プレゼン練習会」「NPO法人について」「多様な情報発信」「市補助金申請募集説明会、相談会」
- ・ 「協働まちづくり講座」連続5回開催、テーマは子ども、高齢者の居場所づくりとして、市の現状報告、他市事例報告や視察会を含め、自治会、民生委員、市職員など多様な参加があり、新たな活動が始まりました。
- ・ 富里市の魅力を発信する目的で市民800人が踊るダンスリレーPR動画を市民ボランティアの協力で制作しました。次年度は市商工観光課と連携して市外での活用に取り組めます。
- ・ ニュースレターNo.5～No.8を編集発行、「協働のまちづくり」情報を区町回覧、公的施設に配架しました。市やまちづくり団体のイベント情報や活動紹介をFacebookページを活用し情報発信しました。（週2.5回）
- ・ 市ふるさと応援寄附金「市民活動分野」の原資となる「ちい寄附」キャンペーンを3回実施、41店舗が参加、94,632円が集まりました。今後重要となるガバメントクラウドファンディングの導入としても寄付でまちづくりに参加するという裾野を広める必要があります。

多世代交流拠点「おおなみなみ」運営事業

開設から4年半が経過、公共施設のほとんどが、年代や目的を区別化して運営されている中で、「多世代交流」に視点を置いた事業を継続してきました。

- ・ 健康貯筋体操、アイチ体操、シニアのための英会話講座等の講座をボランティア講師の協力を得て継続

開催し、健康・生きがいを進めました。

- ・ 「みんなでランチ」を月1回継続開催し、食事を軸とした交流の場づくりを進めました。
- ・ 千葉工業大学鎌田研究室の協力を得て、地域の小学生を対象に「千葉工大生とじっくり学んで遊ぼう！」を夏休みに開催、小学生と大学生の交流の機会を作るとともに、小学生の長期休みの充実をはかりました。
- ・ 「0歳からの英会話」「ヨガ講座」「おやこカフェ@けみがわ」等の講座開催スペースを提供することでママ起業家を支援しました。
- ・ 福祉事業所の物品やNPO法人JFSAのリサイクル衣料品の販売を行い、それぞれの団体への活動の理解と「おおなみこなみ」の運営費の補てんを行いました。
- ・ 「福祉関連事業者、団体の情報交換会」の開催や検見川商工振興会や町会等が主催する「やあびな」への参加を通して地域のネットワークづくりをはかりました。
- ・ 千葉市花見川区活性化補助金として1,152,000円の家賃補助を得て運営しました。

福祉作業所のものづくり応援プロジェクト

- ・ 福祉事業所の販路拡大を目指す、地域創造ネットワークちばの「カタログ選定プロジェクト」に賛同し、「生活クラブ・スピリッツ『Meguru(めぐる)』」カタログ掲載に協力し、福祉事業所の製品を紹介しました。

ふるさとふくしま交流・相談支援事業

東日本大震災により東北3県から避難し、千葉県で暮らす被災者を支援しました。

- ・ 千葉県内の生活情報や支援情報を掲載した被災者向け情報紙「縁 joy」を作成、被災元自治体の協力を得て、県内に避難している被災者世帯に送付しました。(毎月2500部発行)
- ・ 被災者支援の活動を行っている団体、専門家(臨床心理士、保健師等)、福島県職員、千葉県職員の参加を得て、被災者支援情報交換会を6/5、10/27、3/1に開催しました。
- ・ 3/1に千葉市ビジネス支援センター会議室にて、いわき市下神白の復興公営住宅自治会長・佐山さんとNPO法人富岡町3.11を語る会副代表・仲山さんを講師に招き、学習会「福島の今を学ぶ」を開催しました。
- ・ 県内の支援団体等がメンバーとする実行委員会を組織し、実行委員会を7回開催してイベント「縁 joy・東北2017」を12/2にイオンモール幕張新都心で開催しました。(一般参加500名、スタッフ関係者150名)
- ・ 被災地視察バス旅を支援団体メンバーや避難当事者の参加により1/19、20に実施。富岡町、浪江町や福島第一原子力発電所を視察。復興、復旧状況を確認しました。

福島県県外避難者への相談・交流・説明会事業(福島県県外避難者相談センター開設)

- ・ 福島県からの県外避難者対象に説明会・個別相談会をH30、2/18千葉市生涯学習センターにて開催。避難当事者2名参加、福島県担当課職員他12名参加。
- ・ 提案事業1 避難者トーク&映画上映交流会 会場：拠点内
 - ①実施日：H29、6/17「飯舘村の母ちゃんたち～土とともに～」上映。飯舘村からの避難された小林さんによる講演。参加者：28名(避難者6名)
 - ②実施日：H29、9/25「がん哲学外来」についてのDVD上映。「笑い与健康」についてNPO法人ホップ・ステップ・ハッピー理事福原さんより講演。参加者：15名(避難者6名)
- ・ 提案事業2 福島応援 day 企画
避難されている方の趣味や特技をいかして講師(指導)としてお招きして、避難者・地域の皆さまとの交流会を実施しました。地域のみなさんと交流でき、講師の方のやりがいにもつながり、参加者の要望で継続開催した企画もありました。
 - ①実施日：10/2「アクリルたわし・貝根付作り」 参加者14名(避難者5名)
 - ②実施日：10/11「スタンドグラス作り」 参加者7名(避難者3名)
 - ③実施日：10/30「福島ごはん」 参加者10名(避難者2名)
 - ④実施日：11/27「ポーセリンアート」 参加者8名(避難者5名)

- ・ 提案事業3 毎年度開催の復興応援イベント「縁 joy・東北 2017」内に相談ブースを設けました。
- ・ 吉野復興大臣が8/7に相談センターを視察。県内支援団体メンバーや避難当事者と課題共有、懇談しました。

浪江町復興支援員支援事業

- ・ 東日本大震災から7年が過ぎた今も、千葉県内では約560名の町民が避難生活を送っています。多くの生活の不安を抱えている浪江町民の暮らしを支えるために、浪江町千葉県駐在として復興支援員が4名配置され個別訪問や交流の場づくり等の活動を継続しました。浪江町からの受託事業として、全国7駐在の一つとして、復興支援員の活動をサポートしました。2017年度で支援事業は終了しました。

景観まちづくりフォーラム

- ・ 「景観まちづくり千葉協議会」を継続して開催しました。「海辺の復興景観まちづくり」をテーマに10/22に旭市飯岡で開催予定の景観まちづくりフォーラムは台風の影響で開催中止となりました。改めて、2018年5/26に開催予定となっています。

SAVE JAPAN プロジェクト

- ・ 損害保険ジャパン日本興亜株式会社協賛で日本NPOセンターと共催する希少生物保護活動事業を受託、印西市の「亀成川を愛する会」とともに、4/23に「フデリンドウを守ろう！セイタカアワダチソウ引っこ抜き作戦」、6/4「ホテルを守ろう！アメリカザリガニ捕り大会」を企画実施、一宮町の「一宮ウミガメを見守る会」とともに、3/31に「海のロマンを伝えたい」を企画実施しました。

NPO法人地域創造ネットワークちばの事務局業務

地域創造ネットワークちばとの委託契約に基づき、事務局業務を行いました。第11回総会を5/23に、理事会は7/25、12/26、2/27、4/24に開催しました。第12回総会は5/29です。

- ・ 農を通じて様々な人たちが出会い、交流し、働きあう「ユニバーサル農業」を広めることをテーマに、ちばユニバーサル農業フェスタ実行委員会を継続して運営、「第7回ちばユニバーサル農業フェスタ」を12/16四街道市文化センターで開催、来場者3,300人、出展、参加団体は15市町から50団体と多くの方に「ユニバーサル農業」を発信することができました。
- ・ 地域フェスタを佐倉市、神崎町で開催、新規に道の駅発酵の里こうざき会場では神崎町に協力いただき、8団体が出展しました。
- ・ 「出展説明会&交流会」を開催し、5団体の取組み報告、交流会では参加8団体の活動紹介と出された課題について話し合いました。
- ・ 県内のユニバーサル農業の現場の視察会を実施し、意見交換・情報交換をすすめました。
「養鶏をとおした就労訓練」NPO法人みのり福祉障がい者就労・生活さぽーとピース
「カット野菜、農産加工品、漬物工場」社会福祉法人生活クラブ風の村ファーム、とんぼ舎さくら
「農林業で地域活性化を障がい者雇用ですすめる 薪プロジェクト」
社会福祉法人福祉楽団 栗源協働支援センター、(株)恋する豚研究所

ちばNPO協議会の事務局業務

- ・ ちばNPO協議会の事務局を担い、幹事会5回(7/24、9/25、11/26、1/22、4/23)を開催しました。
- ・ 7/1の総会後に講演会「NPO法人の役割再考&地域ニーズに沿った新たな事業展開へ」を開催。講師：関口 宏聡さん(認定NPO法人シーズ・市民活動を支える制度をつくる会)
事業説明「放課後児童支援事業」について 桑野秀男さん(NPO法人アフタースクール)

④ 広報事業

- ・ ニュースレター「つぎの一步くん」59号、60号、61号、62号を毎回1,000部発行しました。NPOの活動課題に沿った情報を掲載し、会員のほか、県内外の市民活動センター・中間支援団体等に配布しま

した。

- ・掲載する情報を会員から広く募集し、メールマガジン「通信・一歩くん」を月2回配信しました。
- ・千葉の公益ポータルサイト「ちばNPO情報館」の登録団体（117 団体）に公開情報の更新をメール、電話、「CHIBAKARA」サイト上で呼びかけました。
- ・団体ホームページのほか、団体ブログ「NPOクラブの愉快的仲間たち」「縁 j o y 東北～エンジョイ東北」、Facebook ページ、Twitter ページを適時更新しました。
- ・千葉の課題解決ポータルサイト「CHIBAKARA」を運営、適時更新しました。今後のサイト運営の見直しのため、利用団体へのアンケートを実施しました。

⑤ 他団体との連携・協力事業

- ・公益財団法人ちばのWA地域づくり基金の活動を支援し、2016年3月に生活クラブ生協で取組んだ寄付つき教材「英語れんしゅうちょう」100冊「英語カレンダー」298冊分、150,468円を寄付しました。今後は、直接取引きすることとなりました。
今年度は理事として関わり、寄附受入れ体制の強化に取り組み、「いぞう寄附の窓口」の周知、相談対応を強化し、冠基金「さくら基金」の設置や相続診断士会等の専門家とのネットワークにつながりました。気軽に寄付の仕組みとして、「カイトリ」「ボランティア宅本便」「使用済みインクカートリッジ回収」を設置、周知に協力しました。コレクティブインパクトモデル事業では、支援対象を絞るための中学生アンケートや地域円卓会議を実施、行政や教育機関、市民、公益活動団体等と課題の顕在化、共有が図られました。
- ・生活クラブ千葉グループ協議会に参加し、年4回開会される役員会、運営委員会に出席、地域共生社会づくり「誰ひとりとして孤立しない地域づくり」の活動をすすめました。また、メンバー9 団体相互の活動交流をしました。
- ・千葉県NPO支援組織ネットワーク会議に参加し、県内20市町村が設置する市民活動支援センター、中間支援団体とともに研修会等を開催しました。
- ・国交省の社会資本整備審議会道路分科会関東地方小委員に就任、新規事業候補箇所の採択時評価について審議しました。
- ・千葉県県民活動推進懇談会副座長に就任、事業評価、事業の進捗、次期推進計画について意見を述べました。
- ・千葉県協働アドバイザーに就任し、千葉県が主催する協働まちづくり講座で講演をしました。
県協働推進委員研修、協働まちづくりセミナーin銚子
- ・千葉県社会福祉協議会 政策調整委員に就任、次期行動計画「菜の花コミュニティプラン2020」策定にむけて議論しました。
- ・浦安市、四街道市、千葉市、大網白里市、白井市、松戸市、印西市、習志野市の委員会等に市民・NPOの立場に関わり、協働事業の選考や市民活動支援補助金の審査、協働推進に関わる計画づくりに携わりました。
- ・中央ろうきん助成プログラム千葉県エリアの予備審査を担当しました。
- ・「東北圏地域づくりコンソーシアム」の依頼を受け、福島県浪江町から関東圏に避難している町民への取材協力を行いました。作成した原稿は、役場発行の「広報なみえ」に連続掲載されています。

2. 事業の実施に関する事項

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数
市民活動・市民事業に関する情報収集及び提供事業	【広報事業】 ・ニュースレター「つぎの一步くん」の発行 ・メールマガジン「通信・一步くん」の配信 ・団体ホームページ、ブログ、Facebook等での情報発信 ・ポータルサイト「CHIBAKARA」の運営・更新	年4回	当事務所	2名	会員123名 他多数 市民一般、市民活動・市民事業を行う団体
		毎月2回	当事務所	1名	会員123名
		随時	当事務所	2名	市民一般、市民活動・市民事業を行う団体
		随時	当事務所	2名	市民一般、市民活動・市民事業を行う団体
市民活動・市民事業に関する講座事業	【講座事業】 ・主催講座開催 ・千葉県市民活動団体マネジメントセミナー開催	通年	千葉市	3名	市民一般、市民活動・市民事業を行う団体 2講座 受講者数27名
		通年	千葉市 柏市	3名	市民一般、市民活動・市民事業を行う団体 5講座 受講者数161名
市民活動・市民事業を行う団体の運営又は活動に関する連絡、助言または援助事業	【相談事業】 ・事務所での相談対応 ・四街道市みんなで地域づくりセンターでの相談 ・とみさと市民活動サポートセンター 【四街道市みんなで地域づくりセンターの運営】 【富里市まちづくりコーディネーター育成業務】 【ちばNPO情報館】 【福祉作業所ものづくり応援プロジェクト】 【SAVE JAPANプロジェクト】 【景観まちづくりフォーラム】 【NPO 法人地域創造ネットワークちばの事務局業務】 【ちばNPO協議会事務局業務】 【風の村ファームの取組み】 【自治体、他団体との連携・協力業務】 委員会等にNPOの立場で関わるとともに、講座等の講師を担った。	通年	当事務所	5名	市民活動・市民事業を行う団体、市民一般 相談件数24件
		通年	四街道市	5名	市民活動・市民事業を行う団体、市民一般 相談件数67件
		通年	富里市	2名	市民活動・市民事業を行う団体、市民一般 相談件数109件
		通年	四街道市	7名	市民一般、市民活動・市民事業を行う団体 入館者総数8,003名
		通年	富里市	2名	まちづくりコーディネーター5名、市民活動・市民事業を行う団体
		通年	千葉県内	2名	市民活動・市民事業を行う団体 登録117団体
		通年	千葉県内	3名	市民一般、市民活動・市民事業を行う団体
		通年	千葉県内	2名	市民一般、市民活動・市民事業を行う団体
		通年	千葉県内	2名	市民一般、市民活動・市民事業を行う団体
		通年	千葉県内	2名	市民活動・市民事業を行う団体
通年	千葉県内	1名	市民一般		
		通年			・国交省、千葉県、浦安市、四街道市、千葉市、大網白里市、松戸市、印西市、習志野市、白井市 ・一般社団法人東北圏地域づくりコンソーシアム ・千葉県社会福祉協議会 ・中間支援組織 中央ろうきん

被災地・被災者 支援事業	【福島県ふるさとふくしま交 流・相談支援事業】	通年	千葉県内	3名	東日本大震災により千葉県内に避 難している被災者、支援を行う団体
	【福島県県外避難者への相 談・交流・説明会事業】	通年	千葉市内	3名	東日本大震災により千葉県内に避 難している被災者、支援を行う団体
	【浪江町復興支援員千葉県 駐在支援事業】	通年	千葉県内	2名	東日本大震災により千葉県内に避 難している福島県浪江町町民
まちづくり・地域 づくり事業	【多様な人々をつなぎ活かす 交流拠点事業】	通年	千葉県内	2名	市民一般 来場者数 2,587名